



2020年、渋谷。 超福祉の日常展 を体験しよう展

SUPER WELFARE EXPO

これまでの7回の開催の間に、シブヤフォントや超短時間雇用が生まれ、移動支援の進化なども見られるようになりました。福祉に関わることが「クールでカッコいい」という受け取り方になるように、力を合わせて頑張りましょう。



▲長谷部区長

超福祉展をオンラインで開催しました

障がいのある人をはじめとするマイノリティーや福祉そのものに対する「心のバリア」を取り除こうと、2014年より毎年、渋谷ヒカリエを中心に開催を続け、昨年まで累計約27万人の来場者が訪れた展示会イベントです。最終回となる今回は、9月2~8日に、メイン会場の渋谷ヒカリエをスタジオ化し、展示・シンポジウム・ワークショップなどをオンラインで開催しました。

障がい者福祉課福祉計画推進係 (☎3463-1922 ㊟5458-4935)



アーカイブ映像を閲覧できます。

▲超福祉展HP

7日間に実施された企画の中から一部をピックアップして紹介します。

都市開発とダイバーシティの調和

ユニバーサル未来社会推進協議会 渋谷超福祉WG2020

区内で進む都市開発や実証実験、スタートアップなどの先進事例を取り上げながら、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた都市の在り方やダイバーシティについて紹介しました。



最先端の技術・デザインを取り入れた

福祉製品の展示

アプリやコミュニケーションツール、車いす、装具などを会場とオンライン(YouTubeなど)で紹介しました。



▲脳がもつ聴く働きに着目して開発された補聴器「オーティコン Opn S」



▲体幹・下肢の運動をアシストする「HAL®腰タイプ 自立支援用」

シブヤフォントシンポジウム

シブヤフォント※の今後の展開についての検討やシブヤフォントを採用した製品のオンラインショッピング体験の様子などを紹介しました。

※渋谷区内で暮らし働く、障がいのある人が描いた文字や絵を専門学生がフォントやパターンにデザインした区公認のパブリックデータです。データ数は200種以上あり、区役所本庁舎、LINE CUBE SHIBUYA(渋谷公会堂)の案内表示、区職員の名刺などに活用されています。2019年度グッドデザイン賞を受賞しています。



▲シブヤフォントの未来を考える「妄想ビジョン会議」



▲シブヤフォント採用製品のオンラインショッピング体験



▲シブヤフォントのオンライン型アート鑑賞プログラム

超福祉展の これから

最終日のクロージングセッションでは、これまでの歩みを振り返るとともに、「超福祉展はこれまで何を越えてきたのか?」「これから何を越えていくべきなのか?」などについてゲストが語り合いました。これまでに超福祉展を通して築いてきた文化や経験を伝えるとともに、今後はリアルやバーチャルで場や拠点を作ってコミュニティを育てていくことなどが提案されました。

区内のお店を応援しよう!

PayPay最大20%戻ってくるキャンペーン

- ▶日時 10月1日(木)~14日(水)
- ▶内容 区内の対象店舗でPayPay残高でお支払いすると、最大20%相当のPayPayボーナスが戻ってきます。この期間に、お得に渋谷区のお店を応援しましょう。

☎産業観光課産業振興係 (☎3463-1762 ㊟3463-3528)

ポイント付与上限

1回あたり2,000ポイント(2,000円相当)、期間通算5,000ポイント(5,000円相当)まで

対象店舗

区内の中規模・小規模のPayPay加盟店(大規模店舗・フランチャイズなど一部対象外店舗あり)

対象店舗はこちらのポスターが目印▶



訂正

しゅばや区ニュース9月15日号の12ページ記事「シブヤ・アロープロジェクトとは?」内の「一時避難場所」の表記について、正しくは「一時退避場所」です。訂正しておわび申し上げます。